

DAPEXI EXHAUST SYSTEM

FRONT PIPE

車型別装着説明書

対応車型

車名、通称名	車両型式	
ミツビシ ランサーエボリューションⅣ、Ⅴ、Ⅵ	GH-CT9A	
年式	エンジン型式	製品番号
'01/2~'06/12	4G63	145-M005

構成品内容

No.	パーツ名	サイズ	数量	No.	パーツ名	サイズ	数量
1	アペックスフロントパイプ 専用品		1	5	ヒートプロテクトテープ	W50 x L3000	1
2	ガスケット	P102 x φ71	1	6	ホースバンド	φ53-φ76	2
3	ボルト	M12 x P1.25 x L40	2	7	アペクスラ証明書		1
4	ワッシャ	M12用	2	8	取扱説明書		1

純正部品取付トルク

右図を参照して、マフラーを装着し、各ボルトとナットの仮締付けを行ってください。
 右図のボルト、ナット、ワッシャは複数の場合を略してあります。すべて取付けてください。
 フラワーの位置関係や自動車、クロスメンバー、その他の周辺部品とのクリアランス及びフランジ間のガスケット
 ずれを確認しながら仮締付けしてあったボルトとナットを順番に指定トルクで締付けてください。

M10 45~55N・m (4.6~5.6 kgf・m) (純正スプリングボルト)
 M12 46~59N・m (4.7~6.0 kgf・m) (付属ボルト)
 純正スプリング・ボルトの締付けは、左右均等に行ってください。
 フラワーパイプと車両側パンパの位置関係、クリアランスを確認してください。不具合が発生した場合、最初から
 締めなおしてください。

△警告
 フレキ関係、燃料関係、駆動関係及び電気関係の配線とのクリアランスには、細心の注意を払ってください。

△注意
 アランス不足を放置すると異常な音が出たり、樹脂パンパの場合熱で溶けることがあります。

△注意
 フロントパイプの取付けによって、ターボの最大過給圧が上がることがあります。過給圧が上がりますと
 ジンを破壊する原因となりますので、フロントパイプ装着後は必ず過給圧の確認及び設定を行ってください。

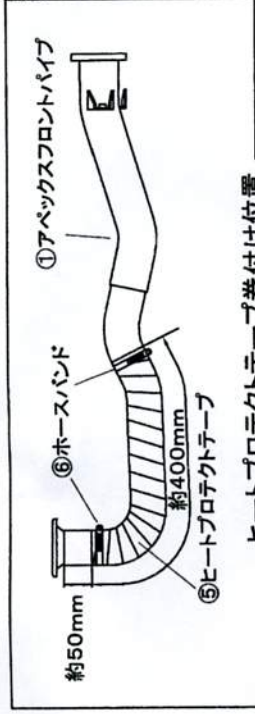
△注意
 運転して再度、各フランジからの排気漏れ、各部の異常音を点検してください。
 ~3の項目に異常が発生した場合、面倒でも最初から装着をやりなおしてください。

取付け時から200km~300km走行後、各部に緩みがない事を点検し、増締めを行ってください。

△Tspecフロントパイプの装着状態の確認
 体の取付けが完了したら、再度マフラーを手で握り各部分のクリアランスを確認してください。
 ジンを始動して暖機し、約2500回転にして各フランジからの排気漏れ、各部の異常音を点検してください。

運転して再度、各フランジからの排気漏れ、各部の異常音を点検してください。
 ~3の項目に異常が発生した場合、面倒でも最初から装着をやりなおしてください。

取付け時から200km~300km走行後、各部に緩みがない事を点検し、増締めを行ってください。



ヒートプロテクトテープ巻付け位置

